

事務事業番号 10602450127

事務事業名	事務事業総点検運営事務		
事業開始年度	2012(H24)年度	担当部署	行政改革部 行政改革課

根拠法令	枚方市事務事業総点検評価員設置要綱、決裁
実施方法	☒ 直営 ☐ 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)
	☐ その他()
目 的 (何のために)	①事務事業の必要性・効率性・有効性等の検証 ②市民への説明責任の履行 ③職員の職務執行に対する意識改革の推進
対 象 (誰・何を対象に)	本市職員、本市における全ての事務事業
事業内容	平成24・25年度の2か年において、すべての事務事業を対象に、一次から必要なものにあたっては三次までにわたって段階的に、担当課による事業の点検及び外部の評価員(有識者3人)による評価を実施する。また、その評価結果に係る対応案を作成し、市議会や市民からの意見を踏まえた上で、次年度以降の予算等に反映する。
類似事業	なし
事業の必要性	事務事業総点検は、事業の必要性や効率性、有効性等を検証するとともに、事務事業の見直しや検証を通じた、職員の意識改革や、市民への説明責任の履行を図るためにも必要である。

コ ス ト		H23年度決算				H24年度決算				H25年度当初予算			
		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
	正職員		人	0	千円	0.70	人	5,600	千円	0.70	人	5,534	千円
	再任用職員		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
	非常勤職員等		人		千円	3.00	人	675	千円	3.00	人	900	千円
	人件費計(A)			0	千円			6,275	千円			6,434	千円
	直接経費(B)				千円			74	千円			269	千円
	総事業費(A+B)			0	千円			6,349	千円			6,703	千円

財源内訳		H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算	
国庫支出金		千円		千円		千円	
府支出金		千円		千円		千円	
受益者負担 (使用料等)		千円		千円		千円	
その他		千円		千円		千円	
一般財源	0	千円	6,349	千円	6,703	千円	

平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	委託料(録音データ反訳委託)	74 千円
		千円
		千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10602450127

事務事業名	事務事業総点検運営事務					
事業開始年度	2012(H24) 年度		担当部署	行政改革部 行政改革課		
活動実績	活動指標もしくは成果指標		単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
	① すべての事務事業に占める「改善」「休・廃止」の割合		%	—	25.5	30.0
	②					
	③					
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	①					
	②					
	③					
成果目標 (目標とする成果)	すべての事務事業を対象に、「事務事業の必要性・効率性・有効性等の検証」「市民への説明責任の履行」「職員の職務執行に対する意識改革の推進」を目的として総点検の取り組みを行い、「今後の方向性」における「改善」「休・廃止」の割合が3割となることを目標とする。					
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	・尼崎市における「事業たな卸し」 対象事業:約1,000事業ある事務事業のうち、法定事業・内部管理事業の約250事業を除いた約750事業を対象(3年間で点検・評価を行うため、1年間で約250事業を対象とする) 外部委員:12名(学識経験者6名、公募市民6名) →外部評価員が評価する事業については、約250事業のうち、30事業程度 ・姫路市における「全事業総点検」 対象事業:約1,500事業ある事務事業 外部委員:12名(学識経験者、各種団体代表、公募市民等) →外部評価員が評価する事業については、約1,500事業のうち、1割程度の「最適化事業」として重点的に点検された事業から特に意見を伺いたい24事業 ※本市における「事務事業総点検」 対象事業:約1,000事業ある事務事業 外部委員:3名 →外部評価員が評価する事業については、本市における全事務事業					
特記事項	・事務事業総点検における点検・評価の流れについては以下のとおり。					
	一次点検 一次評価	各部署がチェックリストに基づき全事務事業を点検 評価員が点検結果を評価し、さらに点検が必要な「重点棚卸事業」を選定				
	二次点検 二次評価	庁内プロジェクトチームが一次点検・評価結果を踏まえ、「重点棚卸事業」を点検 評価員が点検結果を評価し、さらに点検が必要な「最重点棚卸事業」を選定				
	三次点検 三次評価	各部署が二次点検・評価結果を踏まえ、「最重点棚卸事業」を再点検 評価員と各部署の公開によるヒアリングを経て、点検結果を評価				
→各部署が市議会や市民等からの意見を踏まえ、点検・評価結果に基づき対応案を作成し、次年度以降の事業計画及び予算に反映。						
※平成24年度事務事業総点検について、点検・評価の結果を踏まえて、平成25年度当初予算へ反映した事業は12事業、35,908千円となっている。						
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策 (平成25年度)	休・廃止	平成25年度で事業終了。今後は、事務事業総点検の結果を踏まえ、新たな「改革・改善サイクル」を構築し、継続的な事業の見直し・改善を進める。				
一次評価結果 (平成25年度)	・終期設定が平成25年度で、方向性としても休廃止とのことだが、今後の予定を記載する必要があるのでは ・棚卸事業以外についても委員の提案的発言を担当課につなぐシステムが必要なのでは					
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	休・廃止	事務事業総点検は、平成24・25年度の2か年の取り組みであり、今後は、これまでの取り組み結果を踏まえ、新たな事業の見直し・改善を進めていく「改革・改善サイクル」を構築する。 また、事務事業総点検評価員会議における、一次評価結果及び二次評価結果を各課に周知する際には、重点棚卸事業及び最重点棚卸事業に選定された以外の事業についても、評価員コメントを送付している。 なお、今後においても、評価員の意見・提案事項について、共有化を図るべく、必要に応じて事務局が各担当課と協議を行っていく。				